

LIXIL 箱錠・チューブラッチ 交換手順書

必要な工具

手回しドライバー(プラスドライバー)

■交換手順

1. 把手の取外し

●把手を取外してください。

※別紙、<室内ドア把手(とって)>交換手順書を参照してください。(※同封されています。)

2. 箱錠・チューブラッチの取外し

●取付けねじを外し、箱錠・チューブラッチを取外します。(A部、B部)

※取外しの際には、ラッチの向きを確認してください。

3. 箱錠・チューブラッチの取付け

●フロントについている養生テープをはがしてください。取付けねじで箱錠・チューブラッチを取付けてください。(A部、B部)

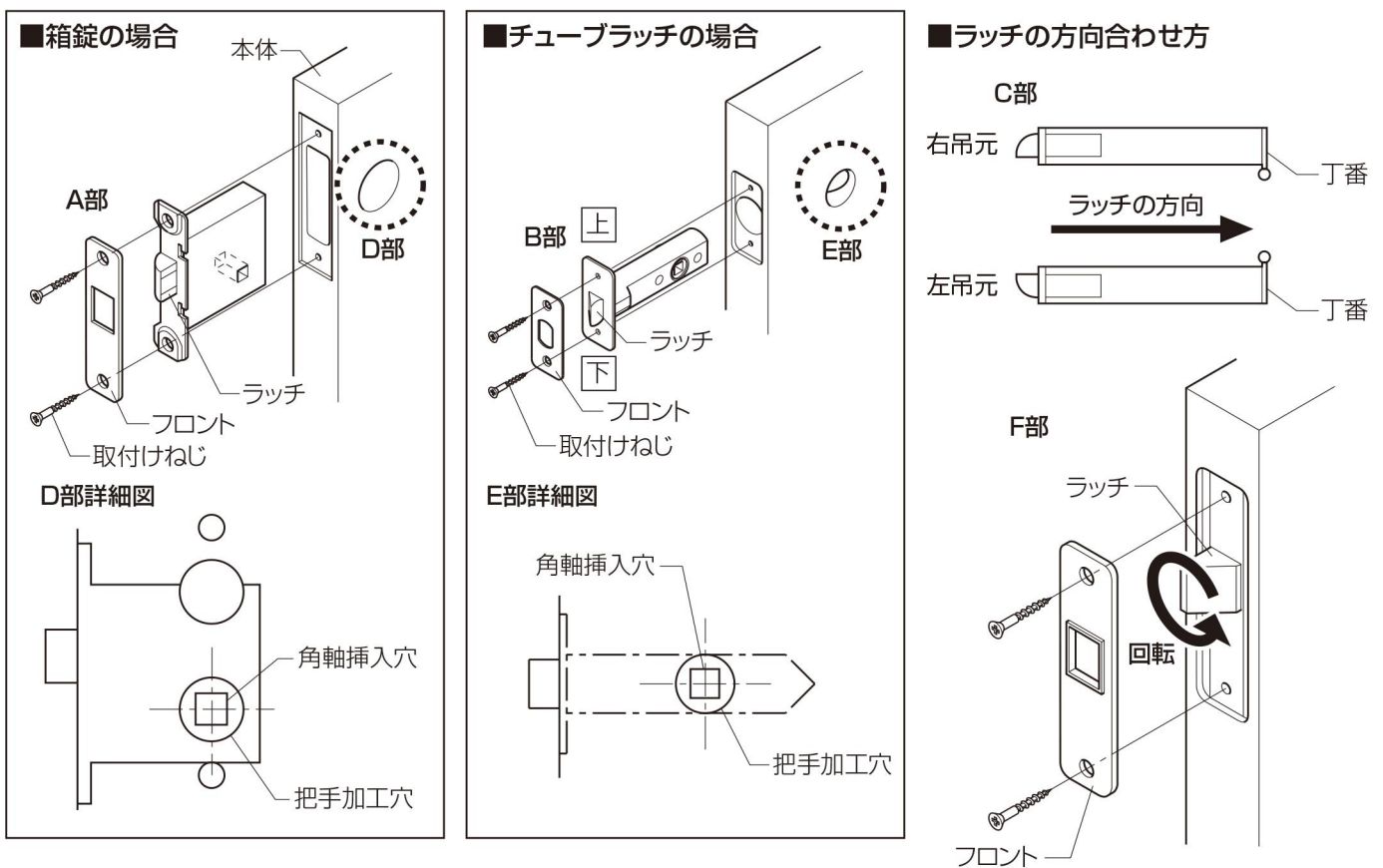
※ラッチは右吊元の向きになっています。(C部)左吊元として使用する場合は、ラッチを180°回転させてからフロントを取付けてください。(F部)

※取付けの際には、「2.箱錠・チューブラッチの取外し」で確認した向きにラッチの方向を合わせてください。

※ラッチの角軸挿入穴が本体把手加工の中心に位置するように取付けてください。(D部、E部)

4. 把手の取付け

●把手を取付けてください。



■交換後のチェック

●箱錠・チューブラッチの取付け部にガタツキがないことを確認してください。

LIXIL 室内ドア把手(とって)【ワンタッチ仕様】交換手順書

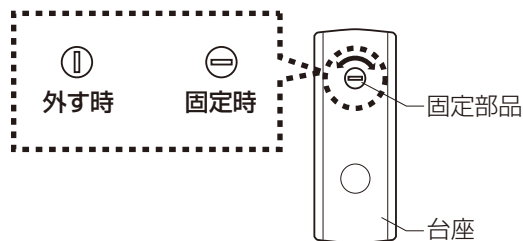
必要な工具

手回しドライバー(プラスドライバー・マイナスドライバー)

■交換手順

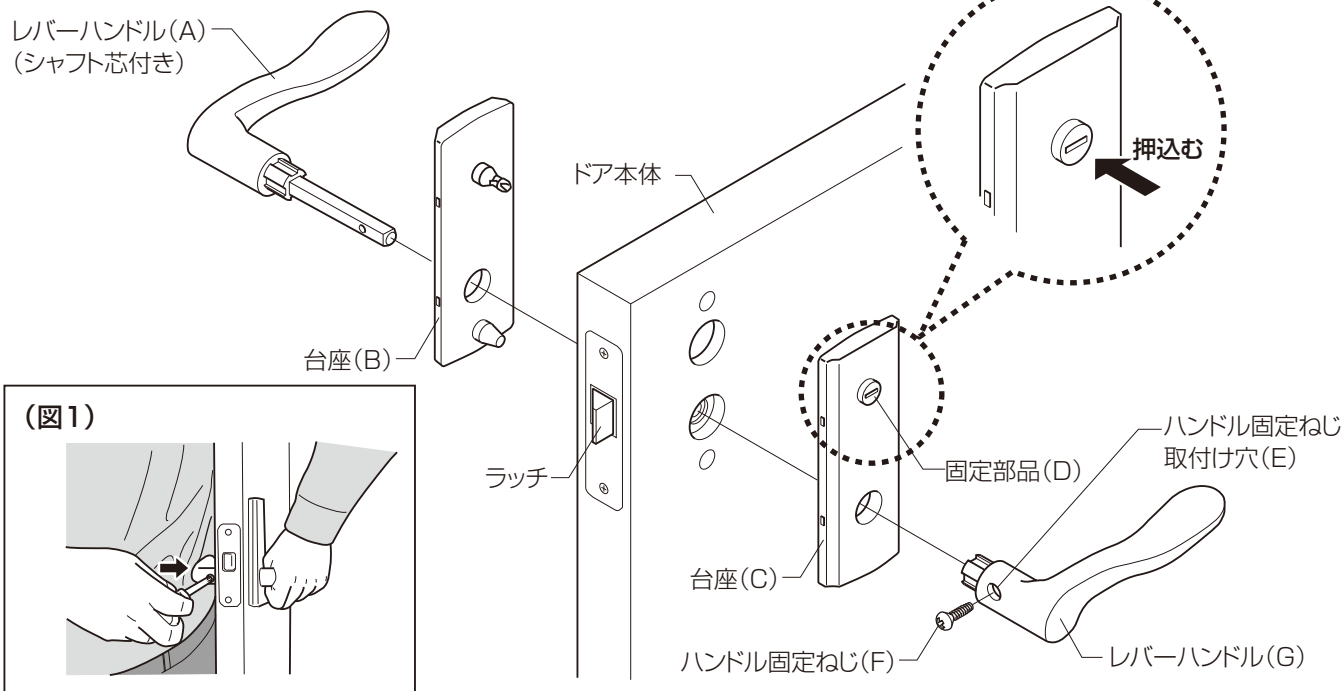
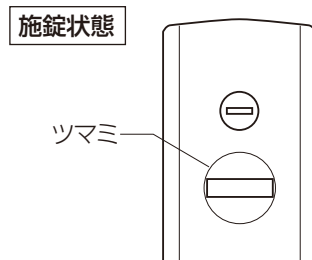
1. 把手の取外し

- ①レバーハンドル(H)のハンドル固定ねじ(F)をプラスドライバーで外し、レバーハンドルを外します。
- ②台座(C)の固定部品(D)をマイナスドライバーなどで縦方向に回転させると台座が外せます。
- ③再度取付けるときは、固定部品をマイナスドライバーなどで元の状態にしてから取付けを行ってください。



2. 把手の取付け

- ①台座(C)上部の固定部品(D)の溝が横になっていることを確認してください。(縦になっている場合は横向きにしてください。)
 ※簡易錠、表示錠、シリンダー錠は施錠状態(ツマミが横向き)で梱包してあります。(右図参照)ハンドルをセットするまでツマミは回さないでください。
 - ②ドア本体の加工穴に合わせて、台座(B)(C)を取付けてください。
 - ③固定部品(D)を「カチッ」と音がするまで押込んでください。
 - ④レバーハンドル(A)(G)をドア本体の両面から差込み、レバーハンドルが軽く回転操作できることを確認してから、ハンドル固定ねじ(F)で固定してください。
- ※ハンドル固定ねじ取付け穴(E)は、長穴になっていますので、内外両側より押しつけて、ハンドル固定ねじ(F)で固定してください。押え込みが足りないとハンドルガタツキの原因となります。図1のようにレバーハンドル軸部を手と腰を使って押しつけ、ハンドル固定ねじ(F)を締めてください。



■交換後のチェック

- 把手の取付け部にガタツキがないことを確認してください。
- レバーハンドルのガタツキ、台座の浮きがないことを確認してください。

LIXIL 室内ドア把手(とって)【ねじ止め仕様】 交換手順書

必要な工具	手回しドライバー(プラスドライバー・マイナスドライバー)
-------	------------------------------

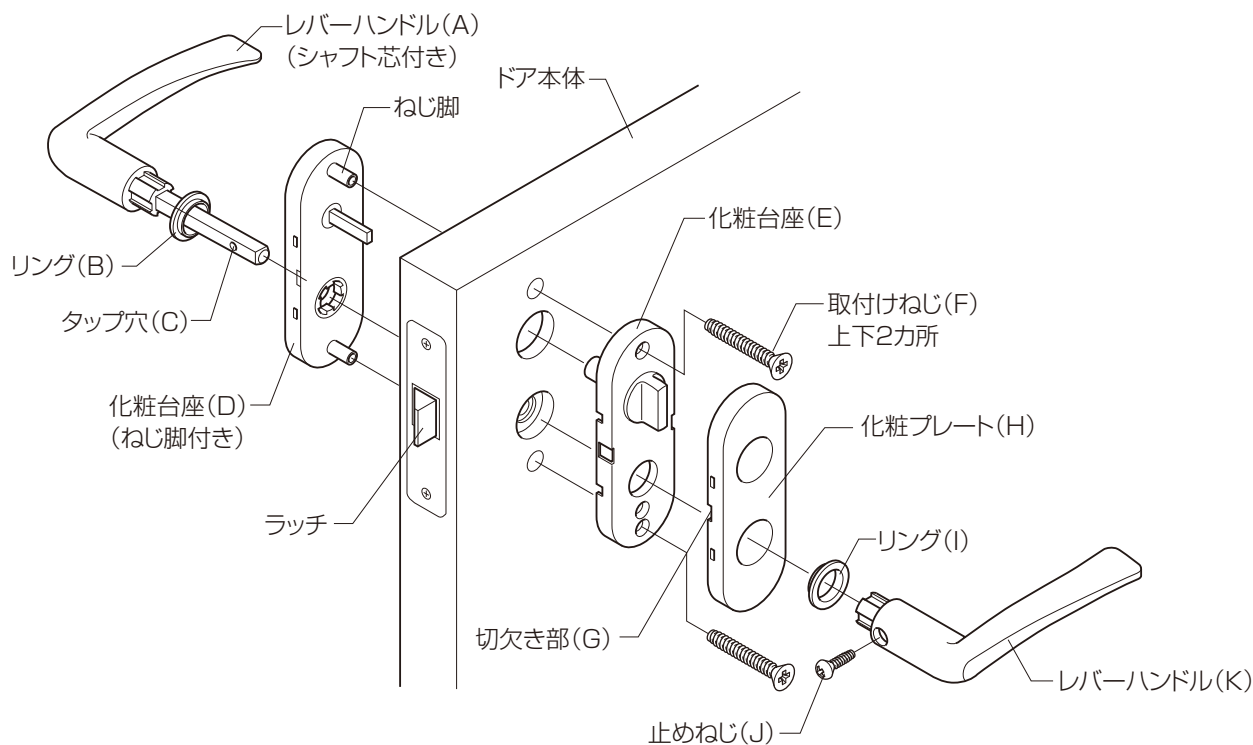
■交換手順

1. 把手の取外し

- ①レバーハンドル(の止めねじ(J)を外し、レバーハンドル(A)(K)、リング(B)(I)を外します。
- ②化粧プレート(H)の切欠き部(G)にマイナスドライバーを差し込み外します。
- ③化粧台座(E)の取付けねじ(F)を外します。

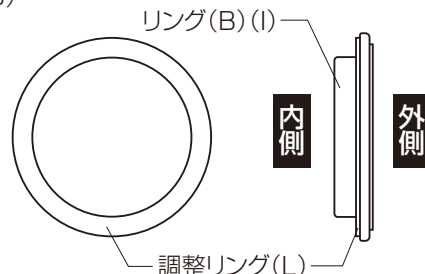
2. 把手の取付け

- ①化粧台座(D)(E)を室内・室外から組合わせ、取付けねじ(F)でドア本体に仮固定します。
レバーハンドル(A)(K)をドア本体の両面からセットし、レバーハンドルが軽く回転操作できることを確認した後、台座の取付けねじ(F)を本締めします。
- ②いったんレバーハンドル(K)を抜き、化粧プレート(H)をはめ込みます。
※化粧プレート(H)を外すときは、切欠き部(G)にマイナスドライバーを差し込んでください。
- ③再度レバーハンドル(A)(K)を差し込み、止めねじ(J)で固定します。



※タップ穴(C)が、止めねじ(J)まで届かない(止めねじが入らない)ときは、止めねじ側のリング(I)の内側についている調整リング(L)を外して、距離を調整してください。

※レバーハンドルにドアの厚さ方向へのガタがある場合は、レバーハンドルセットに同梱の調整リング(L)をリング(B)(I)の外側につけてください。(右図参照)



■交換後のチェック

- 把手の取付け部にガタツキがないことを確認してください。
- レバーハンドルのガタツキ、台座の浮きがないことを確認してください。